

地球と私たちのいい関係を考える

熊本県環境センター開館間近

竹林園や水俣資料館など、水俣は環境モデル都市へと大きく変わるうとしています。その中核施設の一つで、水俣市明神町に建設中だった「環境センター」も開館に向けて今着々と準備が進められています。

平成四年から水俣湾埋立地北側、明神崎に建築中だった「環境センター」は今月開館。開館後は、環境に関する情報提供・環境学習の拠点として、快適な環境の保全と創造への貢献を目指していきます。

▼情報プラザ
環境に関する資料や図書、ビデオを備え、環境情報の提供を行います。児童用図書も多く、将来は貸し出しも行う予定です。また、環境指導員が環境学習への指導・助言をします。

▼環境シアター
八十人が利用できる多目的ホールでは、地球温暖化や酸性雨等、環境問題を大画面の映像で分かりやすく紹介。定時放映と団体申し込みによる特別放映が予定されています。一人で来館した場合は個人用ブースで観ることもできます。



▼展示室(エコロジーハウス)
一軒の家をモデルにして、暮らしの中の環境問題を考えるゾーンです。例えば、リビングルームでは個人でできる省エネの方法を、ダイニングルームではゴミの分別収集やリサイクルなどについて紹介します。ジグソーパズルをしたり、ミュージカルのビデオを見たり…。子どもでも楽しみながら学べるような工夫がなされています。

▼普及啓発事業
環境問題について学ぶ「環境カレンダー」や「自然観察会」「星空観察会」「ゴミウォッチング」を開催するなど様々な企画事業を予定しています。また、施設自体もソーラーシステムを導入したり、雨水を便所洗浄水へ利用するなど、「地球にやさしい施設」になっています。

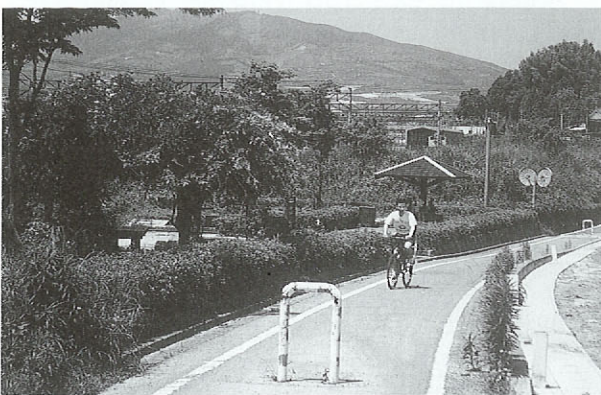


ゆのへりのんびりサイクリングを楽しもう

熊本山鹿自転車道(ゆのファミリーロード)開通

本格サイクリングロード「熊本山鹿自転車道」が、着工以来十九年の歳月をかけて今年五月に全線開通しました。自動車や歩行者に気遣いなく、ひたすらペダルをこぎさわやかな汗を流す休日もいじですね。

「熊本山鹿自転車道」は、近年増大してきた県民のスポーツレクリエーション活動に対応するために整備された県内唯一の大規模な自転車専用道路です。県民の健康づくりはもちろん、地域住民の通勤・通学時の交通事故防止の一助になることも期待されています。



コースは、熊本市の段山橋を起点に

植木町、鹿央町、鹿本町を経由して山鹿市の鍋田橋に至る全長三十四・一キロ。九州では佐賀環状道路につぐ有数のサイクリングロードです。幅三メートルに全アスファルト舗装がされており、起伏の少ないのが特徴です。所用時間は時速七キロで走ると約五時間。井芹川や菊池川沿いに走ったり、谷あいや田園地帯を抜けて走ったりと周囲ののどかな風景が楽しめます。途中五カ所には駐輪場や東屋を備えた休憩所が作られています。

終点には「山鹿サイクリングターミナル」(☎0968(43)1136)の施設もあり、スポーツ車や子供車を貸し出すほか、休憩室・研修室・食堂を備えた宿泊施設が整っています。沿道には熊本城や田原坂公園、県立装飾古墳館、ふるさと伝承館、八千代座、山鹿温泉などの観光名所も多く、観光客誘致につながり地域活性化に貢献するものと期待されています。

■お問い合わせは「熊本県土木道路維持課」(☎096(98)0100)まで。

バスの中で健康チェック！体力チェック！

健康運動体験巡回車が県下各地を巡回中

健康運動体験巡回車「あせだす号」が、四月から運行を開始しました。これは運動の習慣化や生活の改善を図る健康づくりのためのバスです。あなたも心地よい汗を流して健康チェックしてみませんか？

「あせだす号」のメニューは、まず問診を行った後、脈拍、血圧、皮下脂肪厚の測定など「健康チェック」を行います。この段階で問題がなければ体力測定へ。ここでは平衡性、敏捷性、筋持久力などを測る約六種類の「体力チェック」を行います。測定値はコンピュータで分析され、健康運動指導士、管理栄養士など専門スタッフが個人に合った健康づくりのためのアドバイスをしてくれます。



あせだす号
どばいすす
せいかつの中の運動を
だいきすきこやか人生
すこやか人生
レッツ



*愛称「ゆのファミリーロード」は熊本市と山鹿市の熊(ゆう)と鹿(か)を一字ずつ取り、家族(ファミリー)で楽しめる自転車道(ロード)という意味で名付けられました。のんびりと余暇(か)を楽しみ遊(ゆう)ぶという意味も含まれています。